



2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月7日

上場会社名 古林紙工株式会社

上場取引所 東

コード番号 3944 URL <https://www.furubayashi-shiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 古林雅敬

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 米島明

TEL 06-7657-4975

半期報告書提出予定日 2026年8月7日

配当支払開始予定日

2026年9月15日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年1月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	9,192	6.5	299	1.0	305	△7.1	200	△11.2
2025年12月期中間期	8,629	△2.5	296	922.7	328	97.1	225	96.6

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 637百万円 (587.9%) 2025年12月期中間期 93百万円 (△87.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	179.88	—
2025年12月期中間期	204.30	204.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	20,261	11,463	52.4
2025年12月期	20,370	10,825	49.1

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 10,625百万円 2025年12月期 9,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年12月期	—	25.00			
2026年12月期 (予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,500	3.6	350	△19.1	350	△25.7	250	△20.7
								225.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	1,776,820 株	2025年12月期	1,776,820 株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	651,201 株	2025年12月期	667,401 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	1,113,089 株	2025年12月期中間期	1,103,317 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や設備投資が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中東情勢を含む地政学リスクによるエネルギーや原材料の価格上昇や調達面の不確実性、為替相場の変動などから先行きは予断を許さない状況にあります。中国では政府による景気下支え策が実施されたものの、不動産市場の低迷や個人消費の回復の遅れなどから力強さに欠け、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況の中、当社グループは「包装を通じて社会に奉仕します」の社是に則り、「優秀な製品」「確実な納品」「適正な価格」でお客様に信頼していただける受注活動を推進しております。お客様に選ばれるNO.1企業を目指して責任ある『考動』を行うとともに、失敗を恐れずチャレンジすることで自己の成長を促すことを基本とした品質方針を定めております。

また、環境対策として、省資源・易廃棄などのパッケージを開発・促進や再生利用による循環型社会に貢献するSDGs実践企業を目指し、環境方針に基づき行動しております。合わせて、ESGを経営の根幹に据え、故紙削減や森林認証紙の活用などを通じて環境負荷低減と循環型社会の実現に努めております。さらに、従業員の健康、安全衛生の確保、感染症対策を含む各種施策も実施を徹底しております。

その結果、売上高は9,192百万円（前年同期比6.5%増）となりました。日本では原材料や人件費上昇を踏まえた販売価格の改定に加え、昨今の需給環境の中で受注量が増加した一方、中国では既存取引先の受注量減少が継続していることが影響しております。損益面では、日本での販売数量増加および採算改善の効果により、中国における売上高減少の影響を吸収し、営業利益は299百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益は305百万円（前年同期比7.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は200百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当社および国内連結子会社においては、売上高は8,026百万円（前年同期比7.4%増）となりました。原材料や人件費上昇を踏まえた販売価格の改定に加え、外部環境の変化に伴う得意先の調達・在庫動向等により受注量が増加したことが影響しております。損益面では、販売数量の増加に加え、採算改善活動などにより、セグメント利益は529百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

② 中国

当社グループにおいては、セグメント間の売上高を含め売上高は1,561百万円（前年同期比3.4%減）となりました。米国向け医薬品の減少や中国行政による安価医薬品の購買政策等により、既存取引先の受注量減少が継続したことが影響しております。損益面では売上高が減少している中、事業構造の見直しを視野に入れ、固定費の抑制等に取り組みましたが、セグメント損失は84百万円（前年同期はセグメント利益22百万円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当社グループにおける当中間連結会計期間末の資産は20,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少しました。これは、主に受取手形、売掛金及び契約資産で前連結会計年度末が休日であったこと等により608百万円減少、投資有価証券で485百万円増加したことによるものであります。当中間連結会計期間末の負債は8,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ747百万円減少しました。これは主に長短借入金で454百万円増加、支払手形及び買掛金で中小受託取引適正化法対応に伴う支払条件の見直しおよび前連結会計年度末が休日であったこと等により1,133百万円減少したことによるものであります。当中間連結会計期間末の純資産は11,463百万円となり、前連結会計年度末に比べ638百万円増加しました。これは、主に利益剰余金で172百万円増加、その他有価証券評価差額金で332百万円増加、為替換算調整勘定で104百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績につきましては、2026年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772	1,793
受取手形、売掛金及び契約資産	5,327	4,720
商品及び製品	742	778
仕掛品	406	384
原材料及び貯蔵品	362	436
その他	169	195
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	8,778	8,304
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,384	2,236
土地	1,827	1,827
その他(純額)	778	833
有形固定資産合計	4,990	4,896
無形固定資産	106	89
投資その他の資産		
投資有価証券	5,021	5,506
退職給付に係る資産	491	487
その他	986	978
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	6,497	6,971
固定資産合計	11,593	11,957
資産合計	20,370	20,261

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,143	3,010
短期借入金	980	1,230
1年内返済予定の長期借入金	749	798
未払法人税等	147	135
賞与引当金	53	51
その他	1,204	982
流動負債合計	7,275	6,206
固定負債		
長期借入金	1,349	1,504
退職給付に係る負債	86	89
資産除去債務	3	3
その他	832	996
固定負債合計	2,270	2,592
負債合計	9,545	8,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,151	2,151
資本剰余金	1,442	1,458
利益剰余金	4,305	4,477
自己株式	△949	△926
株主資本合計	6,949	7,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,215	2,547
為替換算調整勘定	640	744
退職給付に係る調整累計額	194	174
その他の包括利益累計額合計	3,049	3,465
非支配株主持分	828	838
純資産合計	10,825	11,463
負債純資産合計	20,370	20,261

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,629	9,192
売上原価	7,127	7,623
売上総利益	1,502	1,569
販売費及び一般管理費	1,206	1,270
営業利益	296	299
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	65	68
その他	35	12
営業外収益合計	103	87
営業外費用		
支払利息	17	22
その他	54	59
営業外費用合計	71	81
経常利益	328	305
税金等調整前中間純利益	328	305
法人税等	98	138
中間純利益	230	167
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	4	△33
親会社株主に帰属する中間純利益	225	200

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	230	167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	332
為替換算調整勘定	△163	158
退職給付に係る調整額	△8	△20
その他の包括利益合計	△137	470
中間包括利益	93	637
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	144	616
非支配株主に係る中間包括利益	△51	21

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
印刷紙器	6,762	1,088	7,850
プラスチック包材	699	—	699
その他	15	—	15
顧客との契約から生じる収益	7,475	1,088	8,563
その他の収益	—	66	66
外部顧客への売上高	7,475	1,154	8,629
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	461	461
計	7,475	1,615	9,090
セグメント利益	358	22	380

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	380
セグメント間取引消去	0
その他の調整額(注)	△84
中間連結損益計算書の営業利益	296

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
印刷紙器	7,257	1,088	8,345
プラスチック包材	755	—	755
その他	14	—	14
顧客との契約から生じる収益	8,026	1,088	9,113
その他の収益	—	79	79
外部顧客への売上高	8,026	1,166	9,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	395	395
計	8,026	1,561	9,586
セグメント利益又は損失(△)	529	△84	445

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	445
セグメント間取引消去	0
その他の調整額(注)	△147
中間連結損益計算書の営業利益	299

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。